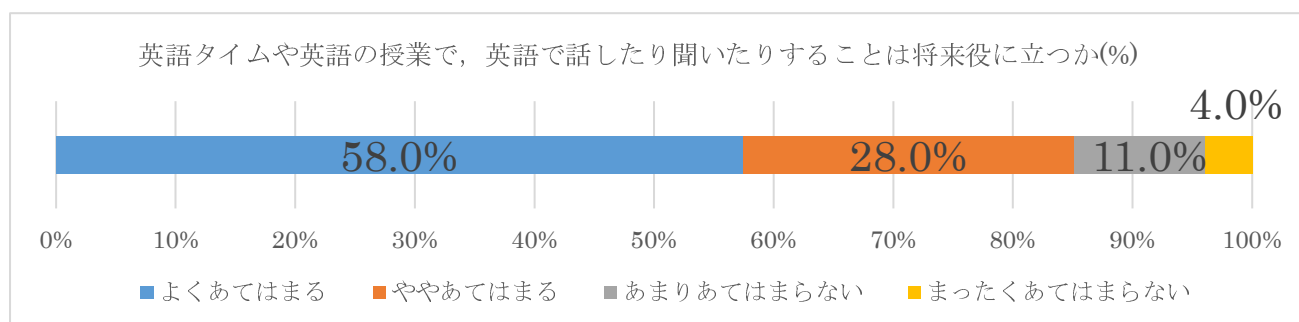


令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度1年生から6年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語タイムや英語の授業で、英語で話したり聞いたりすることは将来役に立つか。」という質問に対し、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」と回答した児童は、全体の86.0%だった。毎日聞いたり話したりする活動を通して、英語の有用性を身近に感じている児童が多いことがうかがえます。

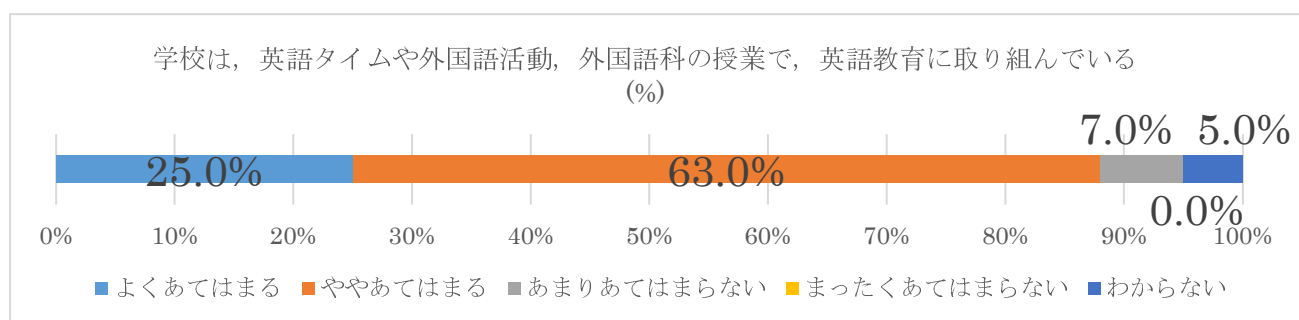
【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

令和7年度に行った保護者向けのアンケート（教育診断アンケート）では、「学校は英語タイムや外国語活動で英語教育に取り組んでいる」という質問に対して肯定的な回答が88.0%あり、学校の取組をご理解いただいていることが分かります。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

学校評価委員会では、評議員の皆様に、英語活動を参観していただき、「児童と教師が一緒になって笑顔で、とても楽しそうに活動しているところがよい」とお褒めの言葉をいただいています。また、本校ではこうした英語活動に加え、1年生からALTによる外国語活動の授業を学期に数時間行っています。その成果もあり、低学年の児童がALTに英語であいさつする姿も見られます。今後も、高学年の外国語科の学習につながるように、児童が英語活動を楽しみながら学習した内容の理解を深めていけるように、指導をさらに工夫し充実させていく必要があります。